

平成22年度補正 予算特別委員会報告

予算特別委員会
委員長 福本 修

大雪対策など補正予算額は5億5千1百万円 補正後の平成22年度予算総額165億4千2百万円

今回の主な補正内容は、国の緊急総合経済対策補助事業「きめ細かな交付金事業」が2億2千800万円、同じく「住民生活に光をそそぐ交付金事業」が3千700万円であり、また、国庫補助金と合併特例債を財源とした仁多中学校普通教室棟の耐震、大規模改修費が2億4千500万円、そして、この冬、大雪にともなう除雪費の追加が3千万円、その他であります。

委員会審査におきましては、「きめ細かな交付金事業」、「住民生活に光をそそぐ交付金事業」の内訳、事業内容について質疑がありました。

きめ細かな交付金事業

16事業 2億2千800万円

【主な事業内容】

- ・ 観光施設の改修、備品購入 4千900万円
- ・ 斎場（火葬場）の整備 4千700万円
- ・ 町道や公園整備 2千400万円
- ・ 仁多共同調理場へ設置予定の有機汚泥発酵分解処理装置 1千700万円
- ・ その他

住民生活に光をそそぐ交付金事業

8事業 3千700万円

【主な事業内容】

- ・ 定住住宅下水道整備 9千100万円
- ・ 小学校、幼稚園、保育所改修 など
- ・ たたら刀剣館の改修 1千200万円
- ・ 鉄の美術館整備 500万円
- ・ 学校図書館の整備 400万円
- ・ 独居老人の除雪対策、自殺予防対策などソフト事業 1千600万円
- ・ とりわけ、議員多数から指摘もありましたが、この交付金事業を利用し計画されている、独居老人あるいは、高齢者世帯の

除雪支援体制については、高齢化の進む本町で、自力除雪が困難と見られる世帯には、役場各課連携して対応されるよう配慮を望むものであります。

・ 仁多中学校普通教室棟の大規模改修、耐震補強費 2億4千500万円

国庫補助金5千万円と合併特例債1億8千万円を財源に、来年度に亘り実施されるものです。学校、公共施設の年次計画的な耐震改修をお願いするものであります。

今年度は1月に入り寒波が継続しており除雪費が3千万円追加補正されております。松江、米子など平野部では除雪体制の不備が大きく報道されました。

一方本町では地元建設業者の協力と連携により迅速な除雪体制が構築されており、除雪作業に携わる方々への感謝に併せ、住民生活の基幹である道路網の確保は、切に要望するものであります。